http://decfamily.p1.bindsite.jp/2013NEW/

We 25R

No.179　13/04/08

３つのこと

さて、担任としてとりあえず君たちにお願いしたいことが３つある。

＊

一つは「**日比谷の生活にしっかり取り組みなさい**」ということ。新しいスタートを迎えるに当たって、自分にとって「日比谷の生活」とは何なのか、もう一度、素直に考えてみてほしい。

例えば「勉強です」という人も当然のことながらいるだろう…というか、いてほしい（笑）。「進学に向けての準備」「将来の夢や目標に向かって努力すること」といった表現になる人もいるに違いない。一方で、「やっぱ部活でしょ！今でしょ！」「友だちとの時間です」という人や、「SSH♡」「ハ・ワ・イ！」系の人、「体育祭優勝!!!」「合唱祭Love」「星陵祭♪」といった「前期・命」派の人もたくさんいるだろうし、中には「自分にとっての日比谷は図書室です」「今年はドイツ語が私のすべて」といった人から、「がんばって休まず出席すること…」という人まで、とにかく色々な思いがあるに違いない。

それを、どうかもう一度素直に自分の中で確かめてみてほしい。そして、自分がそれを実行できているのか、実行しようと努力しているのかを見つめ直して、これから始まる新しい生活に生かしてほしいと思うのである。

＊

二つ目は「**勉強**」のこと。今、「日比谷の生活」について考えてほしいと書いたが、その第一番目に勉強が思い浮かんだ人もそうでない人も、日比谷での生活の根底に「勉強」があるということは、一年間の生活を通して身にしみた現実といえるだろう。勉強がうまくいっていれば、大好きな部活もより充実するだろうし、友だちとの時間はさらに輝いたものになる、つまり、日比谷の生活がうまく回転するに違いないのである。

ぜひこのことを再確認して、自分の「日比谷の生活」の中に「勉強」をうまくかつ強固に位置づけてほしい。「日比谷の生活」＝「勉強」の人は、一年時の成果を踏まえながら、さらに弱点を補強した新しい勉強の戦略を立てること。「日比谷の生活」＝「（現在のところ）勉強以外」の人は、それと勉強との「両立（鼎立？）」をもう一度意識して、これからの生活を設計すること。これが二つ目。

＊

その際、「勉強」が先ずは一時間一時間の授業から成り立っていることに思いをいたし、「**授業を大切にするクラスになってほしい**」というのが三つ目。科目には好き嫌いがあるから、「全部の科目を真剣に！」というのは難しいかも知れないが、自分が好きになれない科目でも、それが大好きで真剣に取り組んでいる人がいるのだということを忘れてはならない。だらけた態度で授業の雰囲気を悪くして、一生懸命な人の足を引っ張るようなことがないように意識しあい、みんなでイイ授業を創りあげるクラスになってほしい。

授業は「先生がするもの」ではなく、「先生と生徒が創りあげるLive」である。ぜひ、先生方の素晴らしいパフォーマンスを引き出すクラスになってほしい。